

5 環境保全と社会貢献

1. 環境保全と社会貢献

一般市民や子供も参加する水環境保全等の社会貢献活動や、広報活動を共催又は協賛することにより、上下水道の水環境保全における役割等についての理解促進を図っています。

2. 下水道展への出展

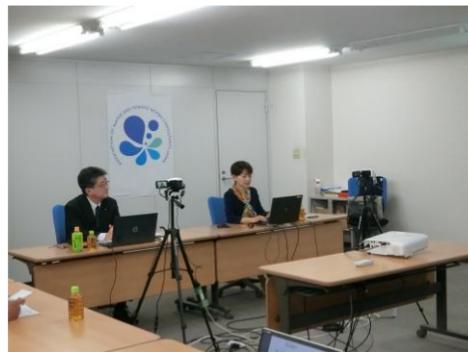
下水道展'24東京に出展しました。来場者数は下水道展全体で49,031人でした。水コン協ブースの来訪者は約1,000人でした。また、学生向けの就職活動サポートイベント「水コン協カフェ」を行い、就職活動中の多くの学生の参加がありました。



下水道展出展ブースの様子

6 資質向上

働き方改革関連法が施行され、水コン協会員の企業においても様々な取り組みが行われています。水コン協では、令和元年度より魅力ある職場づくり推進セミナー（旧 働き方改革セミナー）を開催しており、令和6年度はzoomウェビナーにより、「水コンサルタントのためのメンタルヘルスケア」についての講演を行いました。



働き方改革セミナーの様子



Association of Water and Sewage Works Consultants Japan

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 (水コン協)
東京都荒川区西日暮里5丁目26番8号 スズヨシビル7階 〒116-0013

TEL:03-6806-5751 FAX:03-6806-5753 <https://www.suikon.or.jp>



令和6年度の主な活動

1 第三期中期行動計画(2022-2024)に基づく主要行動

「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」をコンセプトとした水コン協ビジョン2015-2025の第三期中期行動計画(2022-2024)の最終年の3年目として、「業務領域を拡大し、変化する地域・社会・事業体の課題に適時・的確に対応」など10の主要行動を推進しました。

2 人材確保・育成支援に係る活動の展開

現在、人材確保・育成支援が最重要の課題となっています。要望と提案活動の中で、ウォーターPPPの推進、DXの推進、適正な工期確保、発注の平準化、ウィークリー・スタンスの実施等をお願いしました。また、人材確保策として、水コンサルタントの広報のため、X(旧Twitter)の運営や、動画コンテンツの配信、パンフレットの配布などを行いました。

3 災害時支援に係る活動の強化

令和6年度末で事業体との災害時支援協定の締結が87団体(都道府県との一括協定15件を含む。一括協定参加の市町村を含めると604団体。)となりました。

4 支部活動(一例)

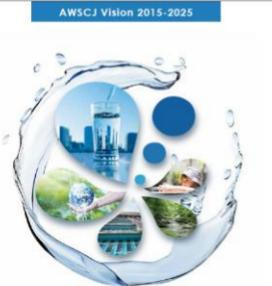
- 北海道支部
 - ・上下水道講習会
 - ・独占禁止法研修会
- 東北支部
 - ・技術講習会
 - ・次代を担う職員研修会
- 関東支部
 - ・コンプライアンス講習会
 - ・若手社員研修会
- 中部支部
 - ・小学校への出前授業
 - ・若手研修会
- 関西支部
 - ・技術セミナー施設見学会
 - ・人材育成交流会セミナー
- 中国・四国支部
 - ・施設見学会
 - ・技術講習会
- 九州支部
 - ・研修講演会
 - ・コンプライアンス研修会



小学校への出前授業
(中部支部)



若手社員研修会
(関東支部)



第三期中期行動計画(2022-2024)

これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦

公益社団法人
全国上下水道コンサルタント協会
Association Of Water And Sewage Works Consultants Japan

第三期中期行動計画パンフレット



X(旧Twitter)

1 調査研究

1. 調査研究（独自）

座談会の実施、業務成果の情報発信などを行い、得られた成果についてはHPへの掲載などの方法により情報公開しています。

2. 広報誌「水坤」の発行

広報誌「水坤」を発行し、会員各社への配布、地方公共団体、大学等の教育機関等への寄贈をしました。

◆夏号特集テーマ： 震災再来～被災地を支える活動～
(令和6年7月発行)

◆新春号特集テーマ： 健全な水循環への道～上下水道事業のこれからの姿～
(令和6年12月発行)



水坤 2025年新春号

3. 大学・他団体の実施する調査研究への参画・支援（受託調査研究）

日本下水道協会（下水道用歩掛検討委員会歩掛改定に伴う調査設計補助業務等）、国土交通省（能登半島地震における水道施設の被災状況把握、水道の復旧方針調査検討、下水道復旧方針等調査）等の合計7テーマについて受託し、主体的に参画・支援しました。この成果は、それぞれの団体により公開され、広く活用されています。

4. 委員・講師の派遣

他団体等からの要請を受けて「下水道技術開発会議」、「浄水技術支援委員会」などに委員を派遣し、日本下水道事業団「下水道研修」、地方公共団体など主催の講演会・研修会に講師を派遣しました。

2 要望と提案

1. 国等への提案活動

下水道技術座談会を開催し、国土交通省や事業者とコンサルタントにより、下水道資源の肥料利活用などについて意見交換を行いました。

国土交通省と事業予算の確保、災害に強い上下水道、新時代の上下水道一体の取り組み、広域化・共同化、ウォーターPPP、脱炭素、DXなどについて提案・意見交換を行いました。また、日本下水道事業団と2050年の上下水道のあり方、国土強靱化の視点と災害復旧、下水道事業の持続の視点などについて意見交換を行いました。



下水道技術座談会

2. 就業環境改善と調達制度の要望

上下水道事業の執行上の課題について、「要望と提案(令和6年度版)」に取りまとめ、主な事業体に持参し、改善の要望を行いました。ウォーターPPPの推進、DXの推進、適正な工期確保、発注の平準化、ウィークリー・スタンスの実施等をお願いしました。

3 人材育成

1. 技術研究発表会の開催、技術報告集の発行

第34回技術研究発表会を開催し、成果発表を通じ会員等の技術力向上を図りました。また、技術報告集第39号を発行、ホームページ掲載し、会員による研究成果をアピールしました。

2. 技術講習会等の開催

本部及び各支部において、技術講習会、見学会等を計55回（共催含む）開催し、延べ約7,900人（内訳、会員5,500人、地方公共団体職員500人、会員外民間1,900人）の方に参加いただきました。

3. 講演会の開催

下水道展'24東京の併催企画として、「ウォーターPPPの導入に向けて」講演会とパネルディスカッションを開催しました。学識者及びコンサルタント社員による講演会とパネルディスカッションで、会場とwebを合わせて約600名の参加がありました。

4. 次世代人材の育成等

小学生を対象に、下水道の仕組みや水環境に関する出前授業を実施しました。



技術研究発表会



「ウォーターPPPの導入に向けて」パネルディスカッション

4 災害支援

行政のパートナーとしての役割を果たすため、他協会との連携・協働により減災、災害復旧・復興に関する支援体制の整備等を進めています。

- ① 事業者との災害時支援協定の締結など下水道BCP策定において協定に基づく関係団体の支援活動が注目されるなど、水コン協においては、令和6年度末で災害時支援協定の締結が87件、一括協定を含む協定対象団体は604件になりました。
- ② 災害時支援者育成講習会
災害等の発生時において災害時支援業務に関する会員の技術力アップを目的として、災害時支援者育成講習会を開催しました。
- ③ 災害時支援ブロック連絡会議、災害時支援全国代表者連絡会議に参加しています。



災害時支援者育成講習会